



# 営農通信 第106号

令和2年12月 JA都城：資材課



## 肥料情勢について

令和2 肥料年度春肥（12～6月）主要品目価格変動についてお知らせいたします。今回の肥料価格については新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収まらないが、海外からの原料調達や国内肥料生産に大きな支障は出ておりません。

肥料各社の工場老朽化の修繕費の価格反映や物流問題などあるが、肥料の国際市況情勢の影響を反映して加重平均0.5%の値下げとなりました。

BB肥料については運賃値上を強く求められているが県内の作物市況等の影響を考慮して**加重平均1.1%値下げ**となりました。

【令和2 肥春肥 品目別加重平均一覧（対前期）】

単肥 99.5%、普通化成 98.9%、高度化成 99.5%、BB肥料 98.9%、NK化成 98.0%、ケイカル 100%、石灰類 100%、その他無機質肥料 100%、有機質肥料 100.4%、配合肥料 99.7%

## さつまいも基腐病について

北諸県地域で、『サツマイモ基腐病』が拡大しています。以下の対策を実施してください。

### 【対策】

- 前作で、1割以上発生があったほ場については「**かんしょの作付を見送る**」もしくは「**遅くとも9月末までにかんしょの収穫を終える**」
- 土壌消毒前または次作開始前にロータリーで残渣を細かく砕き、分解促進を行ってください。堆肥や分解資材などの微生物資材を活用することでより分解促進を行います。（残渣分解により発病抑制）
- ほ場外への排水用の溝を設置する。
- 健全な苗の育成のために苗床の消毒を行ってください。（**バスアミド微粒剤の専用散布機『バスサンパー』の無料貸し出し**を行っております。）
- 株のしおれや葉の変色、枯れなどの生育不良がないか観察する。
- 発病したつるや塊根は速やかに抜き取り、ほ場から離れた場所で適切に処分する。
- ほ場間を移動する時は、長靴や農具、機械を洗浄・消毒する。発生ほ場の作業は一番最後に行う。（優先順位①未発生ほ場→②軽度の腐敗発生ほ場→③重度の腐敗発生ほ場）

- 発生個所の様子  
生育不良やしおれで草丈が低く見える。葉の変色、枯れも見られる。



- 罹病株の地上部病徴  
株基部に、境界が明瞭な黒褐色の変色がある。極初期は、やや色が淡い。



## バスアミド微粒剤について

ご存知の方も多いかと思いますが改めてご紹介いたします。

### 【バスアミド微粒剤の特徴】

- 刺激臭が少なく、使いやすい。**

微粒状の刺激の少ない製剤です。混和後にゆっくりガス化するので、急激に刺激性のガスにさらされることなく作業できます。

- 広範囲の土壌病害、線虫、雑草種子に有効**

混和後に生成される活性成分メチルイソチオシアネート（MITC）が土壌中の病原菌、線虫や雑草種子を不活性化し、連作障害の原因を取り除きます。

- 手軽に散布できる微粒状の製剤**

バスサンパーなどの散布器具を使用するとより効率的に散布できます。（バスサンパーを各支所営農経済課またはグリーンセンターに1台置いてあります。無料貸し出しを行っておりますのでお気軽にご相談ください）



- 施設を痛めません。**

金属腐食性がほとんどないので、ほかの土壌くん蒸剤のように金属がさびて、施設を痛めることがありません。

※十分な効果を発揮するためには、適用内容に沿った使用薬量・方法を行うことが重要です。バスアミドを均一に散布し、混和の際はできるだけ深く、丁寧に混和することが必要です。不均一な散布や混和は効果不足の原因ばかりではなく、薬害の原因にもなりますので十分な注意が必要です。

### ●ほかの土壌消毒剤や線虫剤との併用（同時処理）について

- D-D剤**：可能。バスアミドを混和後にDD剤を土壌灌注してください。
- クロルピクリン剤**：同時処理は薬害消失までの期間が極端に長くなるので避けてください。
- 粒状線虫剤**：バスアミドをガス抜き後～植え付け前に使用してください。

## さつまいも寒害対策について



寒くなると霜による凍傷が心配されます。赤芯等の原因となりますので、必ず土寄せを行ってください。なお、赤芯等で劣化したものは、受け入れできない場合がありますので、十分な寒害対策を行いましょう。

- 里芋をほ場で越冬させる場合は、寒波の前に株上に10cm程度土をかぶせる。特に寒い場所では、土を多めにかぶせてください。

通信内容のご相談は営農サポーターまでご連絡ください

（文書取扱：JA都城 資材課）